



プレスリリース

古楽のための新オーケストラ テューリンガー・バッハ・コレギウム

[ワイマール、2018年3月]テューリンゲン州は「バッハの国」と言われています。なぜならそれはバロック作曲家ヨハン・セバスティアン・バッハ(1685年アイゼナハ生まれ - 1750年ライプツィヒ没)が、人生前半の30年もの間をアイゼナハ、アルンシュタット、ワイマールなどテューリンゲンの様々な町で過ごしたからに他ありません。彼の誕生時点から遡って150年間、テューリンゲンの音楽環境を培ってきた音楽家一族にバッハは生まれました。その一族の中で最も世界的に有名になったのがJ.S.バッハです。バッハの息吹を感じる場所、それがまさにテューリンゲンなのです。テューリンゲンにはバッハの音楽遺産を長く保護してきた伝統があります。バッハの作品は死後に忘却の彼方へと追いやられましたが、19世紀になってからは、彼の存在抜きにしてクラシック音楽を語ることはもはや不可能となりました。彼を讃える数々の演奏会や音楽祭がそのことを証明しています。バッハは様々な音楽分野で画期的な作品を作り出し、音楽形式や音楽言語の更なる発展に貢献しました。彼の作品には伝統的な形式を超越したものが数々あります。そのためバッハの名を掲げるこの新アンサンブルは、模範的なバッハの姿だけでなく、斬新で新鮮な、そして刺激的な響きを追求します。

テューリンガー・バッハ・コレギウム – 古楽で新たな世界を

古楽の星が今ワイマールで誕生します。テューリンガー・バッハ・コレギウムはヨハン・セバスティアン・バッハや彼の先祖(バッハの祖先の音楽)、息子たち、そして彼の生きた時代の作品を歴史に基づく演奏実践により古楽器で演奏します。

創立者はテューリンゲン音楽文化のオーケストラ界を牽引するベテラン二人。リーダーのゲルノート・ズースムートはヨハン・セバスティアン・バッハの後継者に当たるシュターツカペレ・ワイマール(ワイマール州立歌劇場管弦楽団)のコンサート・マスター。マネージャーでコントラバス奏者のクリスティアン・ベルクマンは、過去17年間に渡りシュターツカペレ・ワイマールの舞台に立ってきました。両者共に幼少期からJ.S.バッハの音楽と深い関わりがあります。例えばクリスティアン・ベルクマンはアルンシュタットで生まれ、かのバッハ教会で洗礼を受けました。

経験豊富、演奏をこよなく愛する真なる実力者&専門家集団

テューリンガー・バッハ・コレギウムの創立者ならびにメンバーには、名のある交響楽団や歌劇場の管弦楽団でソリストや首席奏者として演奏してきた長年の経験があります。クラシックの管弦楽団では使われないことのない楽器、例えば、ヴィオラ・ダ・ガンバ、リコーダー、ナチュラルホルン、バロック・トランペットなどが必要とされる場合には、それらの楽器を専門とするフリーランスの音楽家たちが加わります。

www.bachland.de



いずれのメンバーも、偉大な指揮者やソリストとの仕事を通してノウハウをしっかりと身につけた音楽家たちばかりです。音楽文化への造詣が深く、現代音楽に至るまでの彼らの豊富な経験を、歴史的演奏実践の最も新しい学問的見識と融合させて、現在の古楽やバロック音楽のコンサートシーンに新たな風を吹き込みます。国際的に著名な指揮者やソリストとの共演によって、管弦楽団の活動領域を拡大していきます。

テューリンゲンの文化メッセンジャー

「テューリンガー・バッハ・コレギウムは演奏の喜びとエネルギーを表します。私たちの演奏は聴く人たちの心を揺り動かし、非日常の世界へ引き込むものでなければなりません」とクリスティアン・ベルクマンは新創立アンサンブルの動機を語っています。「テューリンゲン州の最高のクオリティーを持つ音楽家たちが結束しています。この地域の音楽文化、特にバロック音楽の宝庫としてのテューリンゲンのメッセンジャーとして、私たちがこのバッハの国から世界にその文化を発信したいと考えています。私たちは言語や世代を超越させて聴き手に言葉の神髄を音楽で響かせます。バロック期には非常にたくさんの音楽が創作されました。それらの作品は無意識のうちに、例えば広告や映画で聴いたりすることで、幅広い聴衆層が形成されています。できるかぎり多くの方々に聴いていただけるように、バロック音楽のレパートリーを主としない劇場やオペラハウスではなく、もっと心理的な敷居の低い（バッハの）教会や音楽祭の舞台に出ていきます」

器楽 – 時代の生き証人

テューリンガー・バッハ・コレギウムは貴重なピリオド弦楽器、例えばジョヴァンニ・グランチーノのヴァイオリンや、ピリオド管楽器のレプリカを用いて演奏します。弦楽器はいずれも約300年前に制作されたものです。すなわち、ヨハン・セバスティアン・バッハの生前に演奏され、人々が聴いていた楽器です。

演奏会日程

スニークプレビュー

2018年4月29日11時開演 於) Rittergut Störmede (ゲーセケ市)

《ヴェストファーレン・クラシック祭》

ヨハン・セバスティアン・バッハ、アントニオ・ヴィヴァルディの作品

2018年春期チケット

各コンサート: 25,00 € (割引価格 17,00 €)

チケット担当: アンネ・ヤコブ

Tel: 02941 - 273 71 94

E-Mail: tickets@westfalenclassics.de



創立記念コンサート

2018年5月13日17時開演 於) Bachkirche Arnstadt (アルンシュタット市)
ヨハン・セバスティアン・バッハ、アントニオ・ヴィヴァルディの作品
チケット販売先：アルンシュタット市ツーリストインフォメーション

2018年6月9日16時開演 於) Orangerie Belvedere Weimar (ワイマール市)
J. S. Bach »ブランデンブルク協奏曲«
チケット販売先：ワイマール・クラシック財団 (www.klassik-stiftung.de)

2018年6月10日11時開演 於) Orangerie Belvedere Weimar (ワイマール市)
マチネー公演 ヒレパールとテューリンガー・バッハ・コレギウム
チケット販売先：ワイマール・クラシック財団 (www.klassik-stiftung.de)

2018年9月23日19時30分開演 於) Büren, Gut Holthausen (ビューレン市)
《ヴェストファーレン・クラシック祭》
ヨハン・セバスティアン・バッハ、アントニオ・ヴィヴァルディの作品

2018年9月25日19時30分開演 於) Schloss Körtlinghausen (リューテン市)
《ヴェストファーレン・クラシック祭》
ヨハン・セバスティアン・バッハ、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル、アントニオ・ヴィヴァルディの作品
チケット担当：アンネ・ヤコブ
Tel: 02941 – 273 71 94
E-Mail: tickets@westfalenclassics.de

報道機関向けサービス

インタビュー、お問い合わせにつきましては、上記の日程に喜んでお引き受けいたします。またプレス用チケットを準備させていただきます。ご要望の場合には、印刷に適した解像度の写真をお送りいたします。掲載の際には、報道の見本、PDF、リンクをこちらにご送付いただきますようお願いいたします。

報道機関向け問い合わせ先

アンゲリカ・クランツ
「KRANZ PR」
Tel: 03643 – 773 60 60
携帯: 0177 – 27 45 455
Email: kranz@kranz-pr.de

